

第125期 株主通信

2021年4月1日～2022年3月31日



新東工業株式会社

証券コード：6339

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに当社グループ第125期（2021年4月1日～2022年3月31日）のご報告を申し上げます。

当期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の変異株発現で度重なる感染拡大による行動制限や生産活動の制約が継続したものの、ワクチン接種の進展が奏功して感染症との共存による市場の回復を背景に社会経済活動の制限緩和が顕著となり社会生活が平常化したことから、回復基調への転換が見られました。

しかしながら、特に中国においては感染症の拡大防止にゼロコロナ政策の継続による活動規制の強化により経済活動は低位で推移しています。

更にはロシアのウクライナ侵攻などの地政学的リスクから、主に欧州や米国で資源・エネルギー価格の高騰など、景気の下押し圧力が顕著となっており、特に半導体の供給不安や調達環境の悪化によりインフレが一段と加速しています。国内においては、新

規感染者数が高い水準で推移する中、感染症との共存を目指し、海外需要への対応から半導体関連をはじめとする需要の回復基調にあります。

当社グループの事業環境につきましては、主要なお客様である自動車産業等で感染症対応や部品供給混乱により生産調整を余儀なくされましたが、半導体産業の好調により電子業界向けを中心に部分品・消耗材が堅調に推移しました。

こうした情勢下、当連結会計年度の受注高は対前年同期比 18,852 百万円増加の 107,303 百万円（前連結会計年度比 21.3 % 増）、売上高は同 16,703 百万円増加の 99,247 百万円（同 20.2% 増）、受注残高は同 3,813 百万円増加の 44,389 百万円（同 9.4% 増）となりました。

収益につきましては、営業利益は増収要因により同 887 百万円増加の 2,606 百万円（同 51.7% 増）、経常利益は同 1,408 百万円増加の 4,478 百万円（同 45.9% 増）、親会社株主に帰属する当期純利益は

同 2,229 百万円増加の 2,835 百万円（同 367.5% 増）となりました。

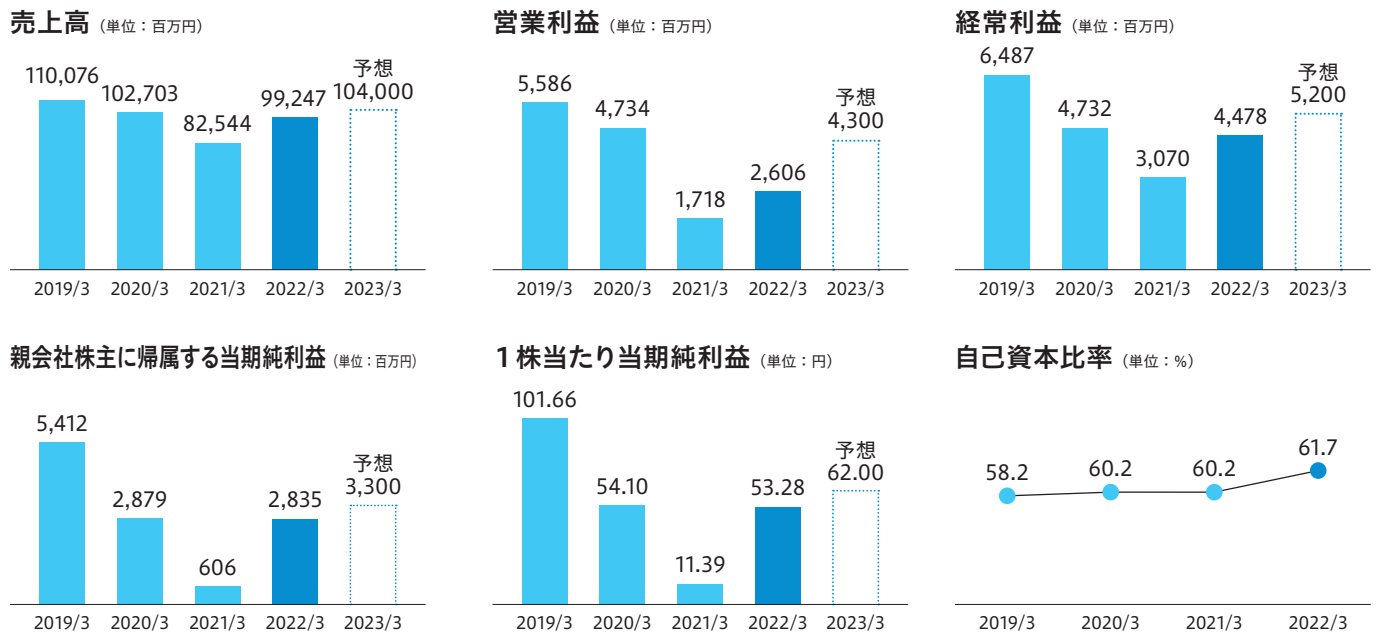
当期の中間配当金につきましては、株主の皆様への利益還元を考慮し、1株当たり13円とさせていただきます。また、期末配当金を1株当たり13円として、年間配当金は前期より2円増加の1株当たり26円を予定しております。

今期より新中期経営計画“Plus”がスタートし、デジタル技術を活用した既存事業の強化、新しい事業における新市場、新分野への拡大を強力に進めています。

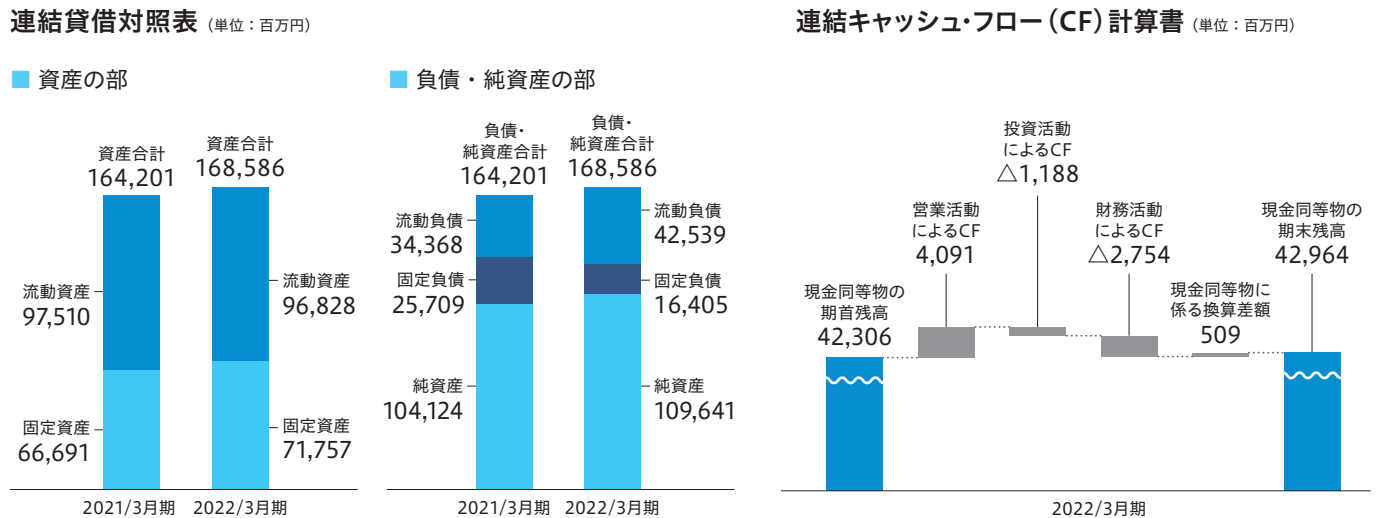
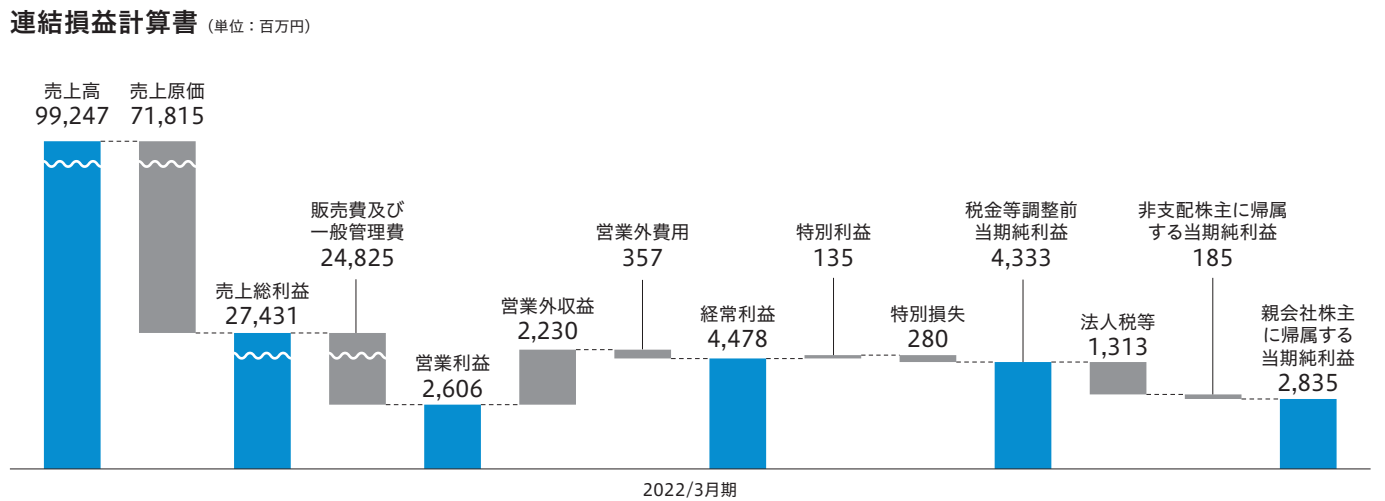
今後も技術の融合をテーマに M&A、技術提携を通じて仲間づくりを強化していく所存です。

これからも皆様のご期待に沿うべく全力を傾けてまいりますので、このうえとも倍旧のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト



2022年3月期連結財務データ



CONTENTS

株主の皆様へ	1	重要課題（マテリアリティ）の特定	5
財務ハイライト／2022年3月期連結財務データ	2	グローバル展開／事業別業績	7
中期経営計画 初年度総括	3	株主様アンケート結果／株主優待制度のご案内	9
年間トピックス	4	会社概要／株式の状況	10

中期経営計画 初年度総括

中期経営計画“Plus”

EV化の加速、情報化技術の急成長、少子高齢化による労働人口の減少など、当社グループを取りまく環境は、前中期経営計画がスタート時に想定したレベルとは比べ物にならないほどに急速に変化しています。この急激な時代の流れにしっかりと対応していく為にも、今までの取組みにスピード感を加え、これまで培った技能・技術を大切にしつつ、新たな技能・技術をプラスし、新たな視点をプラスしていくことを目指し、2021年4月から2024年3月までの3年間に渡る中期経営計画“Plus”を策定いたしました。

同計画では、「事業戦略の方向性」として①「デジタル活用で既存事業を更に進化」、②「新たな事業で新市場・新分野へのシフトを加速」の2点を掲げております。既存の表面処理分野、鑄造分野、環境分野においては、スキルを備えたグローバルネットワークにIoT技術を“Plus”してタイムリーなサポートを提供すると共に、デ

ジタル技術、検査・評価技術を“Plus”することにより新たな付加価値を創造し、お客様に選ばれ続ける事を目指します。更には、前中期経営計画を通して、「EV」、「ロボット・自動化」、「搬送」、「セラミックス」、「再生エネルギー」、「介護」、「床」分野など、多くの分野にわたって、新たな芽を生み出すことができました。これらの新たな分野を、社会課題の解決に貢献していく新たな事業として育てていく事で、鑄造関連分野の枠を超えた、新たな事業の“Plus”につなげてまいります。

これらにより、「お客様に選ばれ続ける」ための体制づくりを強化すると共に、ESG経営に取り組み、持続可能な開発目標（SDGs）へのかかわりを通じてサステナビリティ社会実現に貢献してまいります。こうした取組みを通じて、お客様のすそ野を上げ、お客様との絆を強め、売上の拡大と収益の確保、企業価値向上に努めてまいります。

当社グループは、同計画において、魅力ある商品・サービス創りを通して、新商品売上比率を向上（機械30%、消耗品10%）させ、新たに当社を選んでいただけ、新規お客様数2,500社の増加を目指します。また、お客様に選ばれ続ける指標としての、成約カバー率プラス5ポイントを目指し、これらの取組みを新市場に向けて強化することにより新市場比率をプラス4ポイントさせる事を目指します。これらの取組みにより、連結営業利益率8%以上を達成することを目標としております。



環境にPlusになる事を



次世代にPlusになる事を



社会にPlusになる事を



お客様に新たな価値をPlus



私たち自身に新たな技能・技術をPlus



年間トピックス

新中期経営計画“Plus”発表

「時代が大きく変わろうとしている今だからこそ、今、我々は新たな視点を加えなければならない。社会にプラスになる事を、環境にプラスになる事を、世界の仲間、そして、未来の仲間プラスになる事を、私たち自身の自らの行動によって、力強く作りあげていこう!」



トレーサビリティに識別マーキング

自動車部品をはじめとして、鑄造メーカにおいても製品のトレーサビリティ強化の需要が増えている中、“もっといい鑄物づくり”の実現へ、レーザーマーキング及びレーザークリーニング装置メーカのレーザーラックス社（カナダ）と資本・業務提携実施。



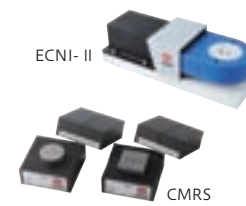
爆発リスク抑制による安全性の確立で表彰

小型化と安全性を両立した粉塵爆発対策型バキュームクリーナ「SXN-1015VC」を開発期間を短縮して早期横展開を実現したことで株式会社デンソー様より「総智総力賞」を受賞。



技術力を評価頂く

残留応力基準片CMRSが(一社)日本非破壊検査協会 通則(NDIS 4404)に対応し、X線応力測定における検定基準の一つとして採択され解説中に明示。渦電流非破壊検査装置ECNI-IIが(一社)日本機械学会「優秀製品賞」を受賞。インライン生砂特性自動計測装置IDSTが日本鑄造工学会「豊田賞」及び素形材センター「会長賞」を受賞。



Sinto Topics

環境TC、商品体感Cリニューアル

新東の環境技術を紹介して体感できる環境テクノロジーセンター（TC）、新東の最新商品を体感していただく施設である商品体感センター（C）が夫々リニューアルオープン。カーボンニュートラルへの取り組みや新分野での商品を紹介しています。



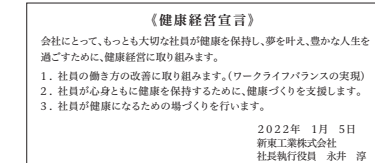
オンラインソリューションサイトのオープン

展示会の規模縮小や対面での営業機会の減少により、新規のお客様への商品提案は厳しい状況が続いている中、多様化するものづくりの課題一つ一つに対して、解決へと繋がる情報発信を目的に、当社の技術や商品を「セミナールーム」、「プロモーションルーム」、「ライブラリールーム」、「商品マッチングルーム」の4ルームで紹介。



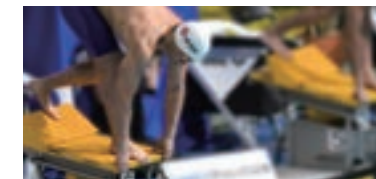
健康経営宣言と豊川食堂リニューアル

健康経営の更なる推進を図るべく、2022年1月5日に指針となる「健康経営宣言」を制定。また、デジタル化と衛生面向上を図る新しい豊川製作所の食堂がリニューアルオープンしました。



アスリート社員（難波暉君）の活躍

4/3-10 第97回日本選手権(東京オリンピック代表選考会): 50m自由形2位、100m自由形4位
6/3-6 ジャパンオープン2021:50m自由形6位、100m自由形3位
7/25 東京オリンピック:4×100mリレー 出場
10/16-17 第63回日本選手権(25m): 50m自由形4位、100m自由形5位



東証プライム市場へ移行

これまでの東証1部より上場基準が厳しく、より成長が期待できる、国際的な競争力を持つ企業であり続けるとの自負から、東証プライム市場へ移行しました。



重要課題(マテリアリティ)の特定

認識する社会課題

私たちを取り巻く環境は、今後数十年単位で見た場合、大きく変化していきます。地球環境としては、温暖化の進行による異常気象や自然災害の悪化などの気候変動、化石燃料をはじめとする資源の枯渇化、Covid19 に象徴される未知の感染症などの懸念が予想されます。

また、デジタル化の進展、技術革新、さらには先進国における少子高齢化の進展や人々の価値観の変化に伴うライフスタイル、ワークスタイルの変化など、好むと好まざるにかかわらず、時代は大きく変わっていくことが予想されています。

環境

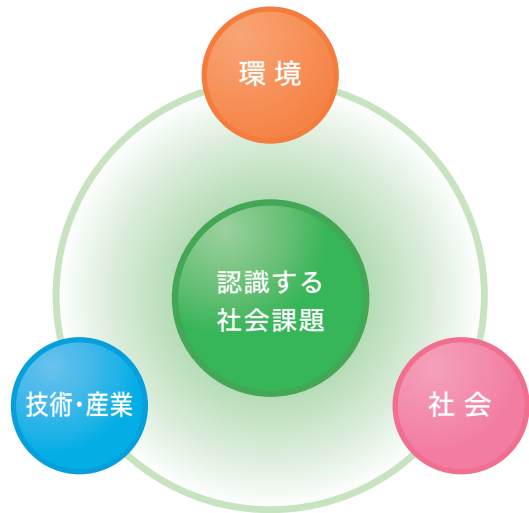
- ・地球温暖化、気候変動
- ・資源の枯渇化
- ・未知の感染症

技術・産業

- ・情報化、AI化、DXの進展
- ・EV、自動運転

社会

- ・少子高齢化の進展
- ・健康、安全・安心・快適の追求
- ・価値観、ライフスタイルの多様化



新東独自のテーマ

SDGs は 17 項目の目標から構成されていますが、新東工業グループではそれに加えて 18 番目の取り組みとして「自分ごと」を独自に追加しています。
すべての社員が、新東工業グループのマテリアリティを自分ごととしてとらえ、それぞれの役割のもと、職責を果たすことにより、マテリアリティひいては社会課題の解決につながることを社内に浸透させています。

提供価値	マテリアリティ		中期的な取り組み課題
① 資源を無駄にしないものづくりの提案 ② バリューチェーンを通じた環境負荷低減	マテリアリティ 1 環 境	循環型社会の実現に資する取り組みを展開します	・温室効果ガスの削減 ・資源循環の推進 ・有害物質への対応 ・エコ意識の醸成
	マテリアリティ 2 人 材	社員の成長と生きがいを尊重した経営を行います	・ One Global Sinto の推進 ・ ダイバーシティ・大家族主義の推進 ・ 健康増進への取り組み ・ 働きやすい環境づくり
③ 安心・安全・快適な製品・サービスの提供 ④ 安心・安全・効率的なものづくりの提案	マテリアリティ 3 技術開発、ものづくり	持続的成長に向け、技術力、ものづくり力を強化します	・ 技術融合による新事業開発 ・ 知的財産への戦略強化 ・ 安全・高品質な製品づくり
	マテリアリティ 4 ステークホルダー	社会、ステークホルダーとの絆づくりを推進します	・ お客様との絆づくり ・ 仕入先との絆づくり ・ 株主・投資家とのコミュニケーション ・ 地域社会への貢献
⑤ ものづくりを通じたステークホルダーとの感動の共創 ⑥ 多様な人材が安全・安心に働ける職場づくり	マテリアリティ 5 企業基盤	健全でサステナブルな経営で、企業価値を向上します	・ コーポレートガバナンス ・ コンプライアンス ・ リスクマネジメント

目指す姿と新東の提供価値

新東工業グループは、創業以来 80 有余年にわたり、一貫してものづくりで素形材産業をリードしてきました。

今後の環境変化、それに伴う社会課題に対し、「新東工業グループとして何ができるか」を考えた場合、これまでの歴史の中で培ってきた技術と経験をもとに、私たちの強みである「ものづくりを通じた社会貢献」、「大切にしてきた人々との絆」がその中心となると考えています。

私たちが目指す姿として、世界中の仲間、未来の仲間と共に、社会、環境にプラスになることを追求し、1. 環境にやさしい循環型社会、2. ものづくりを通じた安全・安心・豊かな社会、3. 感動・成長・幸せを実感できる社会 の3つを掲げ、そして、その実現に向け、私たちがこれまでの技術や経験を活かして社会に提供すべき価値を下の表の6つと決定しました。

■ 私たちが目指す姿

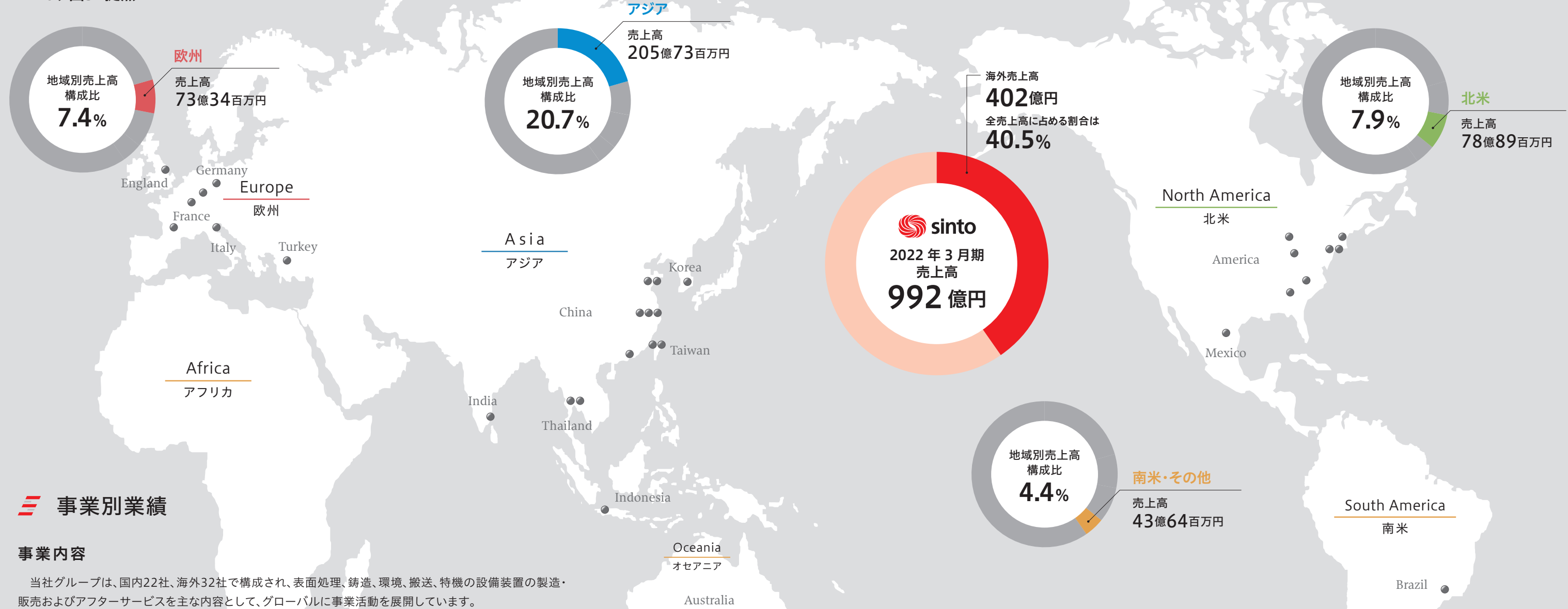
1. 環境にやさしい循環型社会	・ 資源を無駄にしないものづくりの提案 ・ バリューチェーンを通じた環境負荷低減
2. ものづくりを通じた安全・安心・豊かな社会	・ 安心・安全・快適な製品・サービスの提供 ・ 安心・安全・効率的なものづくりの提案
3. 感動・成長・幸せを実感できる社会	・ ものづくりを通じたステークホルダーとの感動の共創 ・ 多様な人材が安全・安心に働ける職場づくり

2022 年度の取り組み	関連する SDGs
● One Global Sinto における取組により、環境対応の強化 ● 全員参加による環境保全活動 ● 3 R の推進 ● TCFD 提言への賛同、気候変動シナリオと影響分析、指標の設定	
● 次世代のリーダー候補の育成に向けたマネジメント教育の強化 ● 女性の活躍の場の拡大（女性管理職の育成） ● 健康経営宣言の策定、健康月間設定による自分ごと活動の展開 ● 社内コミュニケーションの充実、DX 活用による業務の効率化	
● 要素技術の追求、早期事業化への取り組み加速 ● IoT ソリューション事業の拡大 ● セーフティアセッサによる安全機能の確認強化	
● 「お客様に選ばれ続ける」ための活動推進、サポートネットワークの強化・充実 ● サプライチェーン全体での環境負荷低減に向けた指針の展開 ● 機関 / 個人投資家向け説明会、情報開示の強化	
● 報酬体系の業績連動型強化 ● 政策保有株式の活用推進 ● リスクマップの見える化および啓蒙活動の継続強化 ● 事業継続計画 (BCP) の具体的アクションの充実、情報セキュリティ対策の強化・充実	

グローバル展開 One Global Sinto

海外の主な製造・販売サービス拠点

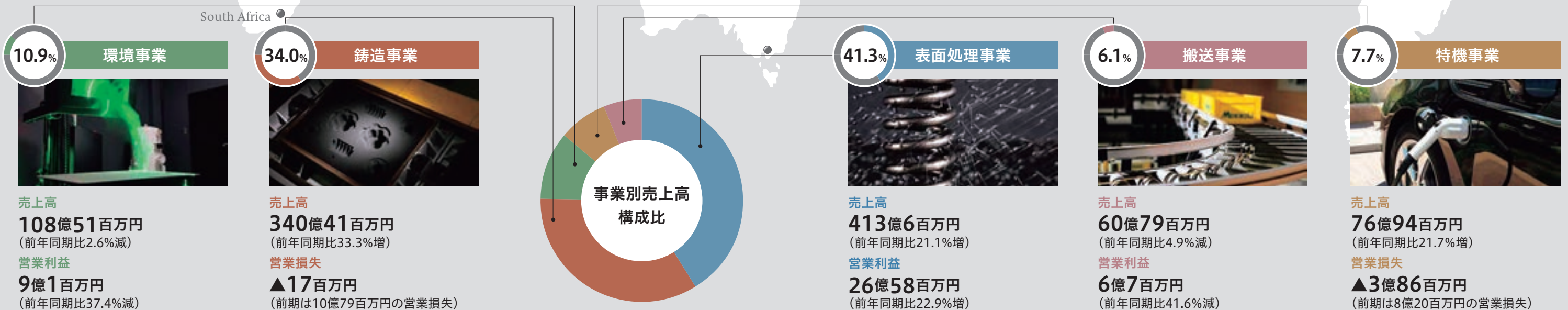
—16ヶ国32拠点—



事業別業績

事業内容

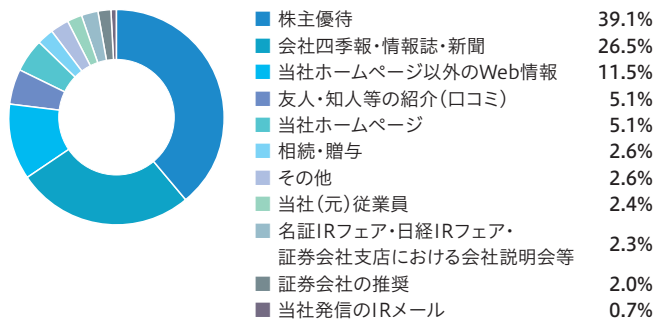
当社グループは、国内22社、海外32社で構成され、表面処理、鋳造、環境、搬送、特機の設備装置の製造・販売およびアフターサービスを主な内容として、グローバルに事業活動を展開しています。



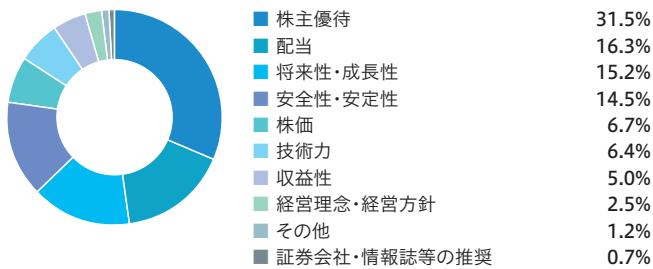
株主様アンケート結果

昨年12月、株主の皆様との相互コミュニケーションを図るべく、アンケートを実施しました。4,335名の方々からご回答いただき厚く御礼申し上げます。主な質問項目に対する回答結果をご報告するとともに、貴重なご意見を今後のIR活動に活かしてまいります。

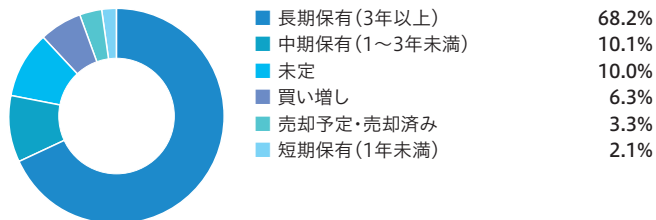
Q1 当社株式を購入されたきっかけをお聞かせください。(複数回答可)



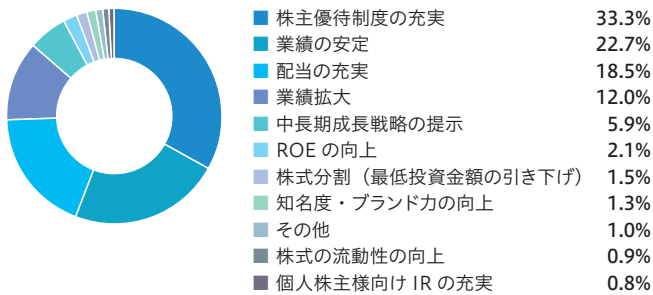
Q2 当社株式購入の際、重視されたことをお聞かせください。(複数回答可)



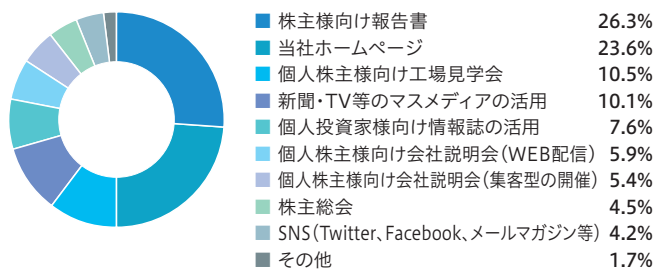
Q3 当社株式の保有方針についてお聞かせください。(1つだけ)



Q4 当社株式の買い増し・長期保有をご検討される際、最も重視することをお聞かせください。(1つだけ)



Q5 当社のIR活動について、充実を希望することをお聞かせください。(複数回答可)



株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、多くの皆様に当社を知っていただき、事業への理解を深めていただくこと、当社株式に投資していただく魅力を高め、中長期にわたり株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的とし、株主優待制度を導入しています。

対象となる株主

毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単位(100株)以上かつ1年以上保有されている株主様が対象です。

株主優待の内容

右記の通り、保有株式数、保有期間の区分に応じ、クオカードを贈呈いたします。

贈呈時期

毎年12月の発送を予定しております。

保有株式数	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100株～999株	クオカード 1,000円分	クオカード 2,000円分
1,000株以上	クオカード 2,000円分	クオカード 3,000円分

※保有期間は毎年9月末日時点の株主名簿に同一株主番号で連続して記載または記録された回数をもとに算出いたします。

会社概要／株式の状況 (2022年3月31日現在)

会社概要

商号	新東工業株式会社 (英文名: SINTOKOGIO, LTD.)
本店所在地	名古屋市中村区名駅三丁目28番12号 大名古屋ビル24階
設立年月日	1934年(昭和9年)10月2日
資本金	57億5,222万4,825円
代表者	代表取締役 社長執行役員 永井 淳
従業員数	4,042名(連結)、1,772名(単体)

役員 (2022年6月21日現在)

取締役会長(社外)	上田 良樹
代表取締役 社長執行役員	永井 淳
常務取締役 上席執行役員	久野 恒靖
常務取締役 上席執行役員	谷口 八束
取締役 上席執行役員	森下 利和
取締役 上席執行役員	仲道 賢一
取締役 上席執行役員	内山 浩光
取締役 上席執行役員	中根 幹夫
取締役(社外)	小澤 正俊
取締役(社外)	山内 康仁
取締役(社外)	内永 ゆか子
監査役(常勤)	後藤 剛
監査役(常勤)	大久保 雄二
監査役(社外)	小島 俊郎
監査役(社外)	長谷川 和彦

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	毎年6月に開催
公告の方法	電子公告 (https://www.sinto.co.jp/investor/) (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
証券コード	6339
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 名古屋証券取引所プレミア市場
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式の状況

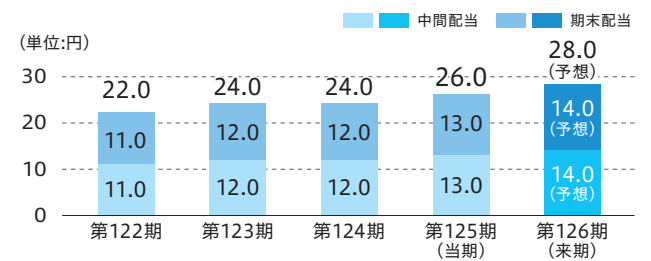
発行可能株式総数	230,476,000株
発行済株式総数	54,580,928株
株主総数	21,702名
単元株式数	100株

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,957	10.91
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,913	5.33
株式会社三菱UFJ銀行	2,289	4.19
明治安田生命保険相互会社	2,276	4.17
株式会社りそな銀行	1,668	3.05
公益財団法人永井科学技術財団	1,405	2.57
新東社員持株会	1,215	2.20
新睦会持株会	1,070	1.96
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS SECLENDING	1,039	1.90
東京海上日動火災保険株式会社	909	1.66

(注)持株比率は自己株式(1,203千株)を控除して計算しております。

配当金の推移



特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

住所変更、単元未満株式の買取のお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座が無い場合特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。

未払配当金の支払いに関するお申出先

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。

新東工業株式会社

〒450-6424 名古屋市中村区名駅 3 丁目 28 番 12 号 大名古屋ビル 24 階
Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279

www.sinto.co.jp



見やすく読みま
ちがえにくいユニ
バーサルデザイ
ンフォントを採用
しています。

